

急変時の体制： 原則として自施設で対応する

・救急蘇生の具体的な対応方法：

1. 対応する医師及びスタッフ
産婦人科医及び麻酔科医、救急医、助産師、看護師（医療スタッフの JCIMELS 蘇生法講習会 受講状況 医師 13 名、助産師・看護師 25 名）
2. 「119 コール」等の院内緊急対応体制
ラピットレスポンスチーム「8999」または緊急蘇生チーム「7999」
に院内モバイルで連絡
3. 緊急帝王切開または ICU へ転棟し処置をつづける

・新生児の救急蘇生の具体的な対応方法

1. 対応する医師
産婦人科医・新生児科医・小児科医・麻酔科医等と連携して対応 医療スタッフの新生児蘇生法講習会（NCPR）受講状況 産婦人科医 15 名、新生児科医 3 名、麻酔科医 15 名、助産師・看護師 30 名
2. NICU 代表モバイル「8855」に院内モバイルで連絡